

一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)

Japan Textile Professional Engineer Center

一般社団法人 日本繊維技術士センターとは

日本繊維技術士センター (JTCC) は国家資格である技術士 (主に繊維部門) 280 余名が、その専門能力を相互に継続研鑽し繊維産業の発展に寄与することを目的に活動している団体です。1962 年の創設以来、繊維および繊維などに関連する分野の技術士、およびこの目的に賛同する賛助企業や協力者、支援者が共同し、資質向上、繊維系人材の教育、育成、技術コンサルティングなどの活動を行っています。

JTCC ホームページ : <https://jtcc.or.jp/>



JTCC 本部事務所 輸出繊維会館ビル6階

JTCC の基本姿勢

JTCC は諸活動として以下のような姿勢で行っています。

1. 法令を遵守し、社会環境の変化・要請に応えます。
2. 業務上知り得た情報・技術等に対し、守秘義務を遵守します。
3. 常に自己研鑽に努める高い専門技術を持つプロフェッショナル集団です。

一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)

理事長 西中 久雄

「技術士 (Professional Engineer)」

「技術士」は、1957（昭和 32）年に制定された技術士法に定められた試験に合格し、文部科学省に登録した者に対する国家資格です。専門を明確にするため繊維では技術士（繊維部門）と表記します。所管の文部科学省の外郭団体に、技術士の繊維部門を含めた全 21 部門を組織化する公益社団法人 日本技術士会がありますが、これとは別に、一般社団法人 日本繊維技術士センター（JTCC）は繊維分野に関係する技術士を中心とした独自の団体として活動しています。

参照：（公益社団法人）日本技術士会 HP：<https://www.engineer.or.jp>

JTCC の活動内容

(1) 教育活動

教育活動委員長 松原富夫（理事）

日本企業の若手技術者に対する指導者が少なくなっている現状に対して、JTCC のベテラン技術者が繊維関連技術の基礎から応用までの教育を受託支援いたします。

- ・ 技術士および繊維製品品質管理士（TES）取得に向けての受験講座を開き、合格まで懇切丁寧に支援いたします。「繊維ベーシック講座」「高機能・高性能繊維講座」「アパレル講座」などの企画講座を開催し、繊維技術の基礎を系統的に教育いたします。
- ・ 全国の繊維系の企業・産地研修機関および大学等に対し実務知識豊富な講師を派遣いたします。
- ・ 繊維関連学会誌・業界紙に繊維基礎講座の連載および書籍出版を支援いたします。



講義風景



JTCC が関連した執筆・編集受託例

(2) 技術支援活動

技術支援委員長 橋本嘉顕（理事）

国内外の企業、政府を始め行政機関などの依頼および依頼者の課題や希望を聞いて、現場経験豊富な専門家が支援業務を行います。数日のスポット診断から長期の調査・現場指導まで対応いたします。下記事例に限らず技術支援事務局にご相談ください。

（詳細は JTCC ホームページ、技術支援クリック、技術支援要請をご参照ください）



現場での技術指導

「支援事例」

- ・ 重合、紡糸、製布、染色加工、縫製、環境等の技術支援
- ・ 新商品開発、技術開発、工場設計等の支援
- ・ 生産管理、品質管理、省エネ対策、コスト低減、安全管理、SDGs などの課題解決指導
- ・ 生産技術系図書の編集受託
- ・ 繊維技術課題のワンストップ機能としての包括的支援窓口

(3) 技術情報活動 技術情報発信部会長 源中修一(執行役員)

アパレルから産業用途まで技術の進歩は日進月歩です。会員は最新の繊維技術の知識や動向が幅広く収集でき、技術士としての自己研鑽ができます。

- ・技術士には継続研鑽(CPD)が求められるため、会員に対しその機会を提供しています。
- ・先端技術や技術者倫理に関する情報を収集するための、講演会・見学会などを開いています。

(4) 企業内技術士交流活動 企業内技術士委員長 八木健吉(理事)

企業や団体に勤務する現役の会員を主とした交流の場を提供しています。

- ・2カ月に1回交流会を開催し、話題提供されたテーマを基に議論や懇談を行って企業の枠を越えた人脈づくりに役立てています。

(5) 広報活動 広報活動委員長 清嶋展弘(理事)

JTCCの活動を広く知っていただくための広報活動を行っています。

- ・2ヶ月に1回、会誌「JTCCインフォメーション」を発行し、会員や賛助会員に配っています。
- ・ホームページ(<https://jtcc.or.jp>)を公開しJTCCの諸活動をお知らせしています。
- ・賛助会員へ、毎月「JTCCニュース」を配信し、技術情報、講習会、行事などの、情報提供に努めています。

(6) 女性技術士の活躍

女性の能力活用について国をあげて積極的な動きがあり、とりわけ繊維の仕事では女性の感性、発言は大切に、女性技術士の活躍が期待されます。JTCCの女性技術士(2023年3月時点19名)は幅広い人脈を形成してその能力を最大限に発揮して活躍しています。



(7) フェスタ・会員交流活動

技術士は文化的な価値も尊重し、人としての喜びを大切にしています。JTCCでは毎年秋にフェスタを開催し、伝統工芸などの文化的な講演を聴くことを大切に、会員の写真、絵画、書、彫刻などを展示して、会員の感性溢れる才能を紹介します。

技術士(繊維部門)をめざすQ & A

Q.1 技術士になるとどんなメリットがありますか。

- A
- ・国家資格「技術士」として専門的指導業務ができます。
 - ・高度な知識・経験を持った人たちへの人脈が広がり自分の技術のポテンシャルを上げることができます。
 - ・専門性の高い国家資格なので社会的なステータスが高まります。
 - ・退職後も技術士資格コンサルタントとして、専門の業務を行える機会が増えます。
 - ・公的な産業振興事業や助成事業の審査、講演などの委託を受けることがあります。
 - ・海外においても高い技術知識をもつ者として位置づけられます。

Q.2 どういう人が技術士に向いていますか。

- A ・ 繊維の一般知識は広く知っておりその中でも一つの専門分野、例えば製糸、紡績、織編、染色仕上、縫製、アパレル、品質評価、繊維機械などについて知識・経験を持っている人です。
- ・ 課題に取り組む姿勢が誠実であり、倫理観を持っている人です。
 - ・ 業務上得た知識、ノウハウなどの守秘義務を確実に守れる人です。
 - ・ 技術だけでなく業界、社会の動向、関連法規など広い視点を持てる人です。
 - ・ 繊維系資格などを取得し、さらに繊維分野で自分の専門の識見を生かしたい人です。

Q.3 技術士は何人くらいいますか。 海外に通用しますか。

- A ・ 全部門の登録者は2022年3月時点で118,285人、繊維部門は810人です。
- ・ APEC Engineer として、日本、オーストラリア、カナダ、中国香港、韓国、マレーシア、ニュージーランド、インドネシア、フィリピン、米国、シンガポール、チャイニーズ・タイペイ、ロシア、ペルー間で相互資格認証が可能となっています。

一般社団法人日本繊維技術士センター（JTCC）や、技術士資格取得に関心をもたれた方は、ぜひ下記までお問い合わせください。

<一般社団法人 日本繊維技術士センター（JTCC）の所在地>

本部事務所 事務局長 松川源栄（執行役員）

〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-9

輸出繊維会館 6F

TEL：06-6484-6506 FAX：06-6484-6575

e-mail:jtcc@nifty.com

関東支部 事務所 支部長 溝口隆久（理事）

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町

12-9 滋賀ビル 506

TEL：03-5643-5112 FAX：03-5614-0103

e-mail:jtcc-kt@nifty.com

東海支部 事務所 支部長 永安直人（副理事長）

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18

一光大須ビル 7F

（財）中部科学技術センター内

TEL：052-231-3043 FAX：052-204-1469

